

## 茶マルチの効果比較試験



左:現行区 右:試験区(6月23日)



現行品(ブラウンホットマルチ)



試験品(茶マルチ)



穴

## 試験目的

茶マルチの効果比較試験

試験作物  
及び品種

トマト(リンカ)

試験資材  
及び数量(規格)

茶マルチ(0.025mm×150cm×200m) 2本

## 慣行資材

ブラウンホットマルチ(0.025mm×150cm×200m)

## 栽培方法

播種日

収穫日

3月5日

6月25日

【栽植密度】 畝幅:80cm 株間:46cm

## 資材使用期間

4月17日~10月上旬

## 試験区面積

60坪×2

## 試験結果

## (1)作業性について(慣行品との比較)

展張時の破れなどはなく、作業性に差は感じられなかった。

## (2)作物の生育状況または、収穫への影響

両資材とも生育に差は見られず、収量も差が無いように見られた。

## (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 使用に問題点は見られなかった。

【問題点】: 問題点とまでは言えないが、慣行品とは差が無い場合、何か特化した特徴があれば切り替わっていくと思われる。

## (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

差はなかった。どちらにも言えることではあるが、穴が開いてもそこから裂けるようなことはなかった。

## (5)保温効果について

差はないように感じられ、問題なかった。

## (6)雑草・病害虫の発生について

両資材の色はほぼ同じで見た目に差が無く、効果にも問題点などは見られなかった。

## モニター感想

今回の試験で試験品と慣行品には育成・作業性ともに違いは感じられなかった。

作業性も問題なかったため、どちらを使用しても作物に影響はないと思われる。

## JA担当者の感想(資材課 福澤 氏)

両資材に相違は見られず、2つの資材間で変更は可能と思われる。また、今後価格次第では普及する可能性が十分あると考える。

ただ、試験品はセンターマークが入っていないため、今後マーク加工ができた方が良いと思う。

## 今後の使用について

差が無いことが分かったので、継続して使用したい。

## 将来希望する資材について

低コスト資材を希望する。